

# 特集 市民と行政による協働のまちづくり 平成18年度予算

各会計予算総括表

(単位 万円, %)

会計区分	平成18年度 当初予算額	平成17年度 当初予算額	比 増	較 減	伸 率
一般会計	1,976,400	1,965,200	11,200		0.6
特別会計	1,928,550	1,840,180	88,370		4.8
国民健康保険	612,360	592,310	20,050		3.4
学校給食事業	33,420	34,130	△ 710		△ 2.1
公共下水道事業	316,710	278,390	38,320		13.8
老人保健	673,700	653,560	20,140		3.1
簡易水道事業	4,260	4,980	△ 720		△ 14.5
介護保険	288,100	276,810	11,290		4.1
水道事業会計	150,980	149,860	1,120		0.7
収益的支出	92,530	93,970	△ 1,440		△ 1.5
資本的支出	58,450	55,890	2,560		4.6
合計	4,055,930	3,955,240	100,690		2.5

一般会計は197億6千400万円を計上。対前年度比0.6%、1億1千200万円の増  
平成18年度の各会計（一般会計、6特別会計、水道事業会計）の予算総額は、405億5千930万円。平成17年度の当初予算と比較すると、2.5%の増となりました。  
内訳は、一般会計が197億6千400万円で、国民健康保険、学校給食事業、公共下水道事業、老人保健、簡易水道事業、介護保険の6特別会計の合計が192億8千550万円で、水道事業会計が15億980万円となっています。  
各会計を平成17年度当初予算と比

## 全会計総額

一般会計歳入

(単位 万円, %)

費目	平成18年度		平成17年度 当初予算額	比 増	較 減	伸 率
	当初予算額	構成比				
市税	496,196	25.1	519,591	△23,395	△ 4.5	
地方交付税	503,200	25.5	505,700	△ 2,500	△ 0.5	
使用料及び手数料	63,353	3.2	69,697	△ 6,344	△ 9.1	
国庫支出金	230,748	11.7	257,051	△26,303	△ 10.2	
道支出金	133,892	6.8	131,226	2,666	2.0	
繰入金	147,361	7.5	105,548	41,813	39.6	
諸収入	101,545	5.1	97,349	4,196	4.3	
市債	119,530	6.0	116,450	3,080	2.6	
その他	180,575	9.1	162,588	17,987	11.1	
合計	1,976,400	100.0	1,965,200	11,200	0.6	

較すると、一般会計が0.6%の増（平成17・18年度における特殊要因である受託事業費と地域総合整備資金貸付金などの事業費を除く実質的な比較では、0.7%の減）、特別会計が4.8%の増、水道事業会計が0.7%の増となりました。  
平成18年度の予算は、固定資産の評価替えによる市税収入の減少や国の「三位一体の改革」による児童扶養手当、公営住宅の国庫補助金の大幅な削減など大変厳しい財政環境の中、民間委託の推進や補助金・助成金の見直し、人件費の独自削減をはじめ、経費全般に渡る徹底した節減合理化と事務事業の見直しを行いま

一般会計歳出

(単位 万円, %)

費目	平成18年度		平成17年度 当初予算額	比 増	較 減	伸 率
	当初予算額	構成比				
議会費	16,622	0.8	16,864	△ 242	△ 1.4	
総務費	88,017	4.4	92,622	△ 4,605	△ 5.0	
民生費	594,050	30.1	577,415	16,635	2.9	
衛生費	125,551	6.3	121,259	4,292	3.5	
労働費	10,351	0.5	12,090	△ 1,739	△ 14.4	
農林水産業費	28,755	1.5	7,005	21,750	310.5	
商工費	34,688	1.8	32,996	1,692	5.1	
土木費	222,531	11.3	251,761	△29,230	△ 11.6	
消防費	8,967	0.5	11,908	△ 2,941	△ 24.7	
教育費	97,990	5.0	97,592	398	0.4	
公債費	314,603	15.9	305,794	8,809	2.9	
給与備	429,275	21.7	432,894	△ 3,619	△ 0.8	
給与備	5,000	0.2	5,000	0	0.0	
合計	1,976,400	100.0	1,965,200	11,200	0.6	

平成18年度の事業では、市営住宅（幌別東団地）建替事業や、亀田記念公園整備事業、キウシト湿原緑地保全事業を継続するとともに、新規事業として、登別温泉文化交流施設整備事業、市民会館整備事業、（仮称）幌別西児童クラブ開設工事などのハード事業のほか、産後子育てママ派遣事業、自動体外式除細動器購入などを盛り込みました。  
一般会計歳入では、歳入の約4分の1を占める市税が対前年度比4.5%減の

## 一般会計歳入

財政調整基金積立金から6億7千800万円を取り崩し、厳しい財政状況に対応

## 一般会計歳出

引き続き建設事業費を抑制。給与は職員給与の独自削減や人員減により0.8%の減

歳出では、民生費が地域総合整備資金貸付金や支給範囲拡大などの制度改正に伴う児童手当支給経費の増などから、対前年度比2.9%増の59億4千500万円となりました。  
土木費は受託事業費を含む道路事業費や市営住宅（幌別東団地）建替事業費の減などから、対前年度比11.6%減の22億2千531万円に、教育費は登別温泉文化交流施設整備事業や市民会館整備事業の着工などにより、対前年度比0.4%増の9億7千990万円となりました。  
市債の償還金に当たる公債費は、対前年度比2.9%増の31億4千603万円に、給与費は職員給与の独自削減の継続や人員減に取り組んだ結果、対前年度比0.8%減の42億9千275万円となりました。